

令和5年3月24日

保護者の皆様

大阪市立東三国中学校
校長 羽田 佳弘

4月以降の学校におけるマスク着用の考え方の見直しおよび健康観察について (お願ひ)

平素から本校の教育活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。
さて、新型コロナウイルス感染症対策については、これまでも感染拡大防止に取り組んでおりますが、新学期以降の学校園におけるマスク着用の考え方の見直し等について、次のとおり教育委員会より通知がありました。学校といたしましては、引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止と教育活動の継続の両立に取り組んでまいります。
なお、4月以降はお子さまの体温等の健康状態や同居ご家族の健康状態等の日々の報告は必要ありません。ただし、4月につきましては健康観察用紙を配付いたします。提出は不要ですが、ご家庭での健康観察に引き続きご理解ご協力をお願い申しあげます。

(教育委員会からの通知より抜粋)

1 マスク着用の考え方の見直しについて

(1) 基本的な考え方

- 令和5年4月1日以降、幼児児童生徒及び教職員については、学校（幼稚園）教育活動に当たって、マスクの着用を求めることを基本とすること。
- ただし、登下校時に通勤ラッシュ時等混雑した電車やバスを利用する場合や、校外学習等において医療機関や高齢者施設等を訪問する場合など、マスクの着用が推奨される場面においては、幼児児童生徒及び教職員についても、着用が推奨されること。
- 基礎疾患があるなど様々な事情により、感染不安を抱き、マスクの着用を希望したり、健康上の理由によりマスクを着用できない幼児児童生徒もいることなどから、学校園や教職員がマスクの着脱を強いることのないようにすること。幼児児童生徒の間でもマスクの着用の有無による差別・偏見がないよう適切に指導を行うこと。
- 学校教育活動の中で「感染リスクが比較的高い学習活動」の実施に当たっては、活動の場面に応じて、（別添）に示すような一定の感染症対策を講じることが望ましいこと。これは、部活動等において同様の活動を実施する場合も同様であること。
- 加えて、新型コロナウイルス感染症に限らず、季節性インフルエンザ等も含め、感染症が流行している場合には、教職員がマスクを着用する又は幼児児童生徒に着用を促すことも考えられるが、そういう場合は、マスクの着用を強いることのないようにすること。
- また、咳やくしゃみの際には、咳エチケットを行うよう幼児児童生徒に指導すること。